

《企業紹介》

同社は、海外大手金融機関での勤務経験を有するベトナム人が集まって 2007 年に起業した証券会社である。当初から競合他社とは一線を画し、リサーチ主導による国内外の機関投資家向け証券仲介業務と投資銀行業務を軸に地歩を固めてきた。近年では証券取引のデジタル化をチャンスとみて、個人投資家への浸透も積極的に進めている。所得水準向上に伴ってベトナムの株式投資家の裾野が広がっているが、2025 年のホーチミン証券取引所の取引シェアは 6.55%で 4 位と、前年の 5 位から順位を上げている。長年培った強みを生かし、ベトナム証券市場において存在感のある大手総合証券会社となっている。

《2026 年 4－6 月期業績》

2026 年 4－6 月期の営業収入は前年同期比 1.4%増の 1.1 兆 VND (ベトナムドン) だった。1－3 月期の同 65.3%増から急ブレーキがかかっている。4－6 月期の株式市場の一日平均の取引高が同 27.2%減の 6.5 億株にとどまったため、トレーディングのボリュームが減少し、資産関連収入が同 29.7%減の 4,726 億 VND に落ち込んだことが響いた。証券仲介業務関連収入は同 44.4%増の 7,030 億 VND だったが、これは顧客向け貸付金の増加や金利の上昇によって貸付金等からの収入が同 79.7%増の 4,630 億 VND と伸びたためであり、委託手数料収入は同 2.0%増の 2,257 億 VND にとどまっている。株式市場の取引量停滞を顧客基盤の拡大で吸収したものの、委託手数料収入の伸びは 1－3 月期の同 128.0%増からは急減速している。

営業費用は同 33.2%減の 5,156 億 VND となった。資産関連収入に対応する費用が同 47.2%減の 3,169 億 VND となったこと、証券仲介業務関連収入に対応する費用が同 15.6%増の 1,987 億 VND に抑制されたことなどが貢献した。以上の結果、純営業収入は同 70.4%増の 6,603 億 VND となった。顧客向けの貸付金増加を借入金の増加で賄ったために金融費用が同 143.2%増の 3,634 億 VND に大きく増加したため、営業利益は同 26.6%増の 2,676 億 VND となった。税前利益は同 28.0%増の 2,708 億 VND、純利益は同 36.3%増の 2,506 億 VND となった。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	1,159.7	26.6	1,443.3	48.1	1,526.3	52.8	1,406.5	65.3	1,175.8	1.4
資産関連収入	672.7	40.2	742.9	30.3	841.2	56.0	636.0	51.2	472.6	-29.7
証券仲介業務関連収入	486.8	11.9	699.6	73.1	684.9	49.1	770.2	79.1	703.0	44.4
その他	0.1	-81.6	0.8	928.6	0.2	-42.2	0.2	-0.4	0.3	99.3
営業費用	772.3	114.9	685.5	46.4	619.4	19.1	631.8	101.3	515.6	-33.2
資産関連収入に対応する費用	600.4	187.0	421.7	57.9	389.2	1.4	452.5	168.8	316.9	-47.2
証券仲介業務関連収入に対応する費用	171.9	14.5	263.8	31.2	230.2	69.3	179.3	23.3	198.7	15.6
その他	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-
純営業収入	387.4	-30.4	757.8	49.7	906.9	89.3	774.6	44.2	660.3	70.4
一般管理費	26.8	-21.7	41.6	-13.0	53.8	65.8	46.0	103.0	29.3	9.6
金融費用(マイナスは収入)	149.4	-17.6	197.2	1.8	309.6	60.1	324.7	86.2	363.4	143.2
営業利益	211.3	-38.0	518.9	96.1	543.5	114.6	403.9	18.8	267.6	26.6
税前利益	211.5	-38.5	518.9	96.1	543.7	114.6	403.9	13.7	270.8	28.0
純利益	183.9	-34.1	420.3	95.2	442.9	102.8	340.7	15.6	250.6	36.3

注1 営業収入の分類は会社データをもとに当社が独自に行っている。資産関連収入は証券の売買益・評価益や保有証券からの利息・配当金、証券仲介業務関連収入は委託手数料や証拠金取引の貸付金利息、引受手数料、コンサルタント手数料が含まれる

注2 営業費用の分類は会社データをもとに当社が独自に行っている。トレーディングは各種売買損・評価損及び取引コスト、サービスは対応コストや証拠金取引の貸倒費用が含まれるが、支払利息は含まれない

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260728

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ベトキャップ証券(VCI)



《株価の動向》

同社の株価とVN指数を2025年末の終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は、4月にVN指数に対してアンダーパフォームに転じた後は下落トレンドが続き、パフォーマンス差は拡大傾向にある。7月に入ってから業績の伸び悩みや、将来の新株発行による希薄化懸念などにより、株価の下落が加速する状況となっている。7月27日終値時点の2025年末比変動率はVN指数の6%下落に対し、同社の株価は28%の下落となっている。また、7月27日終値18,450VNDで計算した時価総額は21.2兆VNDで、これは2025年12月期実績の純利益1.3兆VNDの16倍となっている。

図表2 株価推移



同社は2026年12月期の業績について、営業収入を前期比31.0%増の6兆5,250億VND、税前利益を同41.2%増の2兆3,000億VNDと計画している。2026年1—6月累計実績の計画に対する進捗率は営業収入が40%、税前利益が29%にとどまり、進捗に遅れがみられる状況となっている。このことも株価パフォーマンスに影響している可能性がある。2026年9月にFTSE ラッセルによる市場格上げが実際のオペレーションに入り、海外投資家からのベトナム株式市場への資金流入が期待されるところだが、期待が先行しすぎた反動が出ている可能性もある。ただし、格上げは、流動性向上や投資家の多様化を通してベトナム株式市場にとってプラスをもたらすものであり、そのような環境の変化の中で、創業以来強化してきたリサーチ部門を武器に、同社がどのようなポジションを獲得するのかという視点も忘れるべきではないだろう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260728

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。